

城東地域活動委員会 報告ニュース

2026年3・1 ビキニデー集会に参加してきました！**1日目**

①



第五福竜丸展示館



「死の灰」

②



東京大空襲・戦災資料センター



写真中は「M69 油脂焼夷弾（模型）」



1日目は東京都江東区にある都立第五福竜丸展示館①と東京大空襲・戦災資料センター②を見学しました。

①1954年3月1日、マーシャル諸島ビキニ環礁でアメリカがおこなった水爆実験により被ばくした静岡県焼津港所属の遠洋マグロ延縄漁船が第五福竜丸です。爆心地より160キロ東方の海上で操業中、突如西に閃光を見、地鳴りのような爆発音が船をおそいました。やがて、実験により生じた「死の灰」(放射性降下物)が第五福竜丸に降りそそぎ、乗組員23人は全員被ばくしました。水爆「ブラボー」は、広島に落とされた原爆の1000倍の破壊力でした。爆発によって砕けた珊瑚の粉塵はキノコ雲に吸い上げられ、放射能を帯びた「死の灰」となり、日本各地から出漁していた多くの船や、マーシャル諸島周辺の海や島々に降り積もりました。放射能は広範な海と大気を汚染したのです。その数々の資料が第五福竜丸展示館に展示されています。

②1945年3月10日。アメリカ軍の無差別爆撃によって東京の下町一帯は焼け野原になり、約10万人もの人びとが命を奪われました。この東京の空襲の歴史・体験を、できるだけ正確にしっかり伝えていくことを通じて、戦争や空襲の記憶の風化をふせぎ、過去の戦争を美化・正当化するような動きには反対し、戦争・空襲のない平和な社会をつくり、まもっていく事を目的につくられたのが東京大空襲・戦災資料センターです。

2日目

墓参行進の様子



3・1 ビキニデー集会



2日目は焼津駅前から、第五福竜丸の無線長で「原水爆の被害者は私を最後に」と言い残して亡くなられた久保山愛吉さんが眠る弘徳院まで行進しました。全国から様々な団体が核兵器廃絶と平和を願い歩いておられました。集会では、武力攻撃に抗議することと、核兵器禁止条約を批准して、日本から核のない世界をと呼びかけられました。

平和な日本を未来に残せるかどうかは私たち次第です。

5月9日(土)は、ピースリレー。 平和を願って参加しませんか？

ピースリレー2026 HP



Instagram



問い合わせ先 組合員サービスセンター

電話 0120-299-070 FAX 0120-299-230

携帯からは 072-856-7671(有料)

火曜～金曜：9時～18時 月曜・土曜：9時～17時

※受付させていただいた個人情報に関しては
この取組み以外に使用いたしません。